

2020 年度 新入生アンケート 調査報告

2020 年 6 月

京都精華大学 教学グループ

2020 年度 新入生アンケート調査概要

1. 調査目的

新入生の入学段階での指向や学修状況を把握して、今後の本学の教育や学生支援の質向上を図るためのデータとして活用する。

2. 調査対象

2020 年度 4 月入学の学部生 1020 名

3. 調査期間

2020 年 4 月 1 日(水)10:00~4 月 26 日(日)23:59

4. 調査方法

教学システム(セイカ・ポータル)の WEB アンケートフォームより実施

5. 回答者の構成比率

学部	学生数	回答者数	回答率	構成比率	回答者 構成比率
芸術	121	118	97.5%	11.9%	11.9%
デザイン	237	234	98.7%	23.2%	23.6%
マンガ	325	315	96.9%	31.9%	31.8%
ポピュラーカルチャー	102	99	97.1%	10.0%	10.0%
人文	235	225	95.7%	23.0%	22.7%
全体	1020	991	97.2%	100.0%	100.0%

	2020	2019	2018	2017
対象者数	1020	897	753	676
回答者数	991	384	247	443
回答率	97.2%	42.8%	32.8%	65.5%

2020 年度 新入生アンケート 集計結果

質問1 本学を知ったきっかけを教えてください

「高校・塾・日本語学校の先生から聞いて」が昨年に続いて最も多く、次いで「京都精華大学のホームページ」、「大学紹介サイト」の順。

その他の回答は、

「インターネット検索で探した」「高校に先生方が来てくれて」「中学時の大学体験授業」

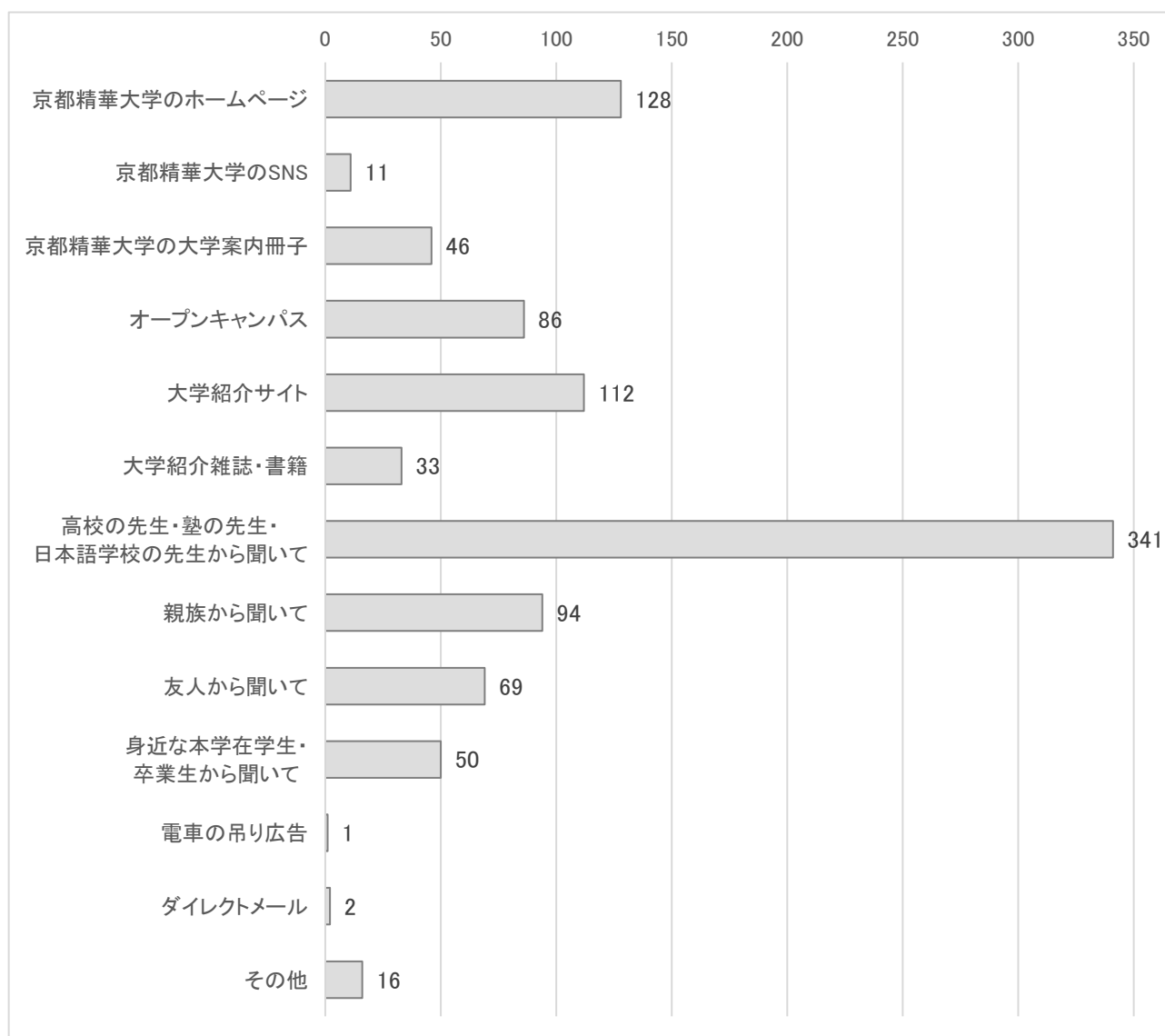
「小学生の時初めて大学に来た」「学長の情報番組出演を見て検索」

「東京の大学よりグローバルな感じと学長の言葉に感動して」「精華学園高等学校を知っていたから」

「マンガミュージアムを訪れて」「塩田千春の作品を見て」「指定校推薦の一覧表から」

「アニメーション学科がある大学を検索して」「マンガコースのある大学を検索して」

などがあった。



質問2 本学を志望したのはいつ頃でしたか

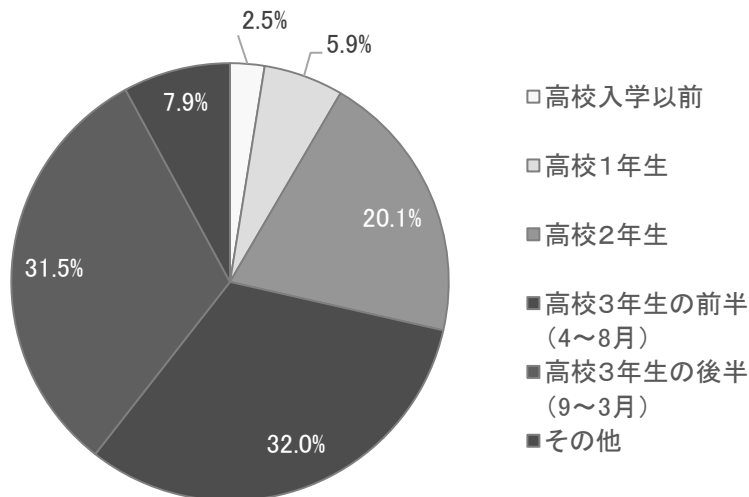
「高校3年生の前半」が、最多であった。次いで、「高校3年生の後半」「高校2年生」の順。

その他の回答は、

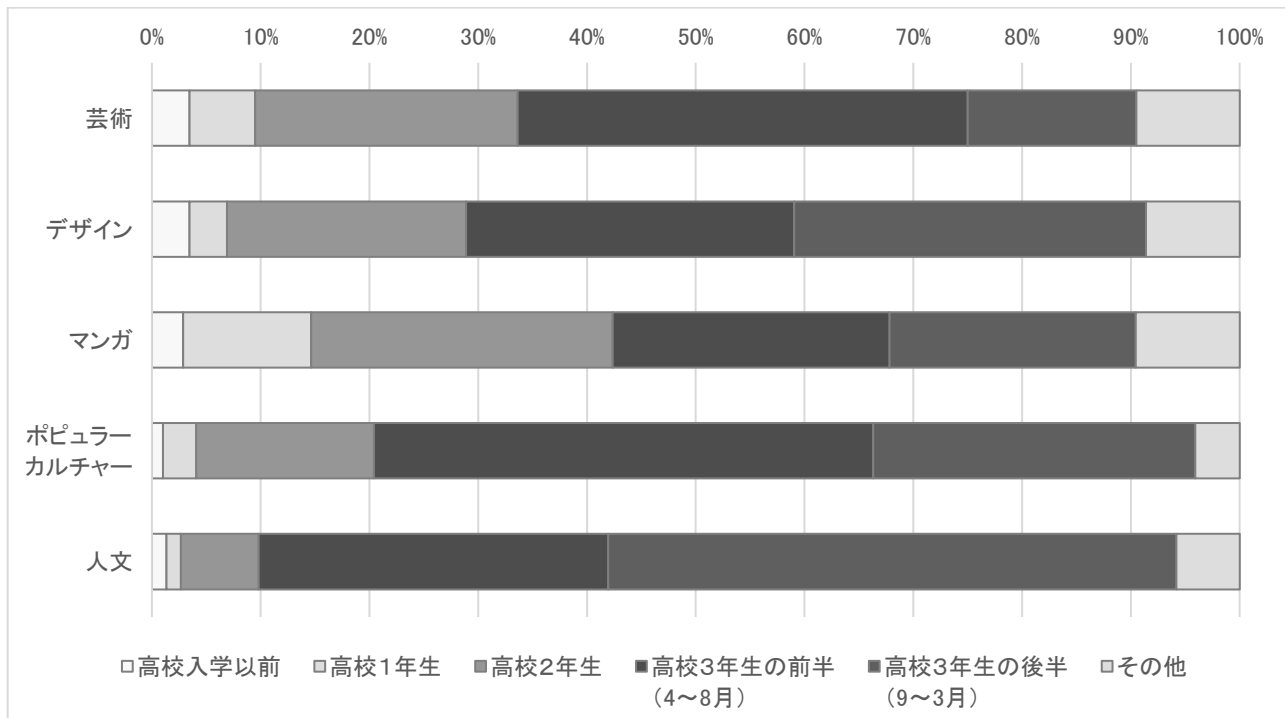
「高校卒業後」「浪人中」「日本語学校時」「日本へ留学するとき」「中学生の時」

「他大学にいる時」「社会人になった後」

などがあつた。



以下は、学部別回答



質問3 本学に入学した一番の理由を教えてください

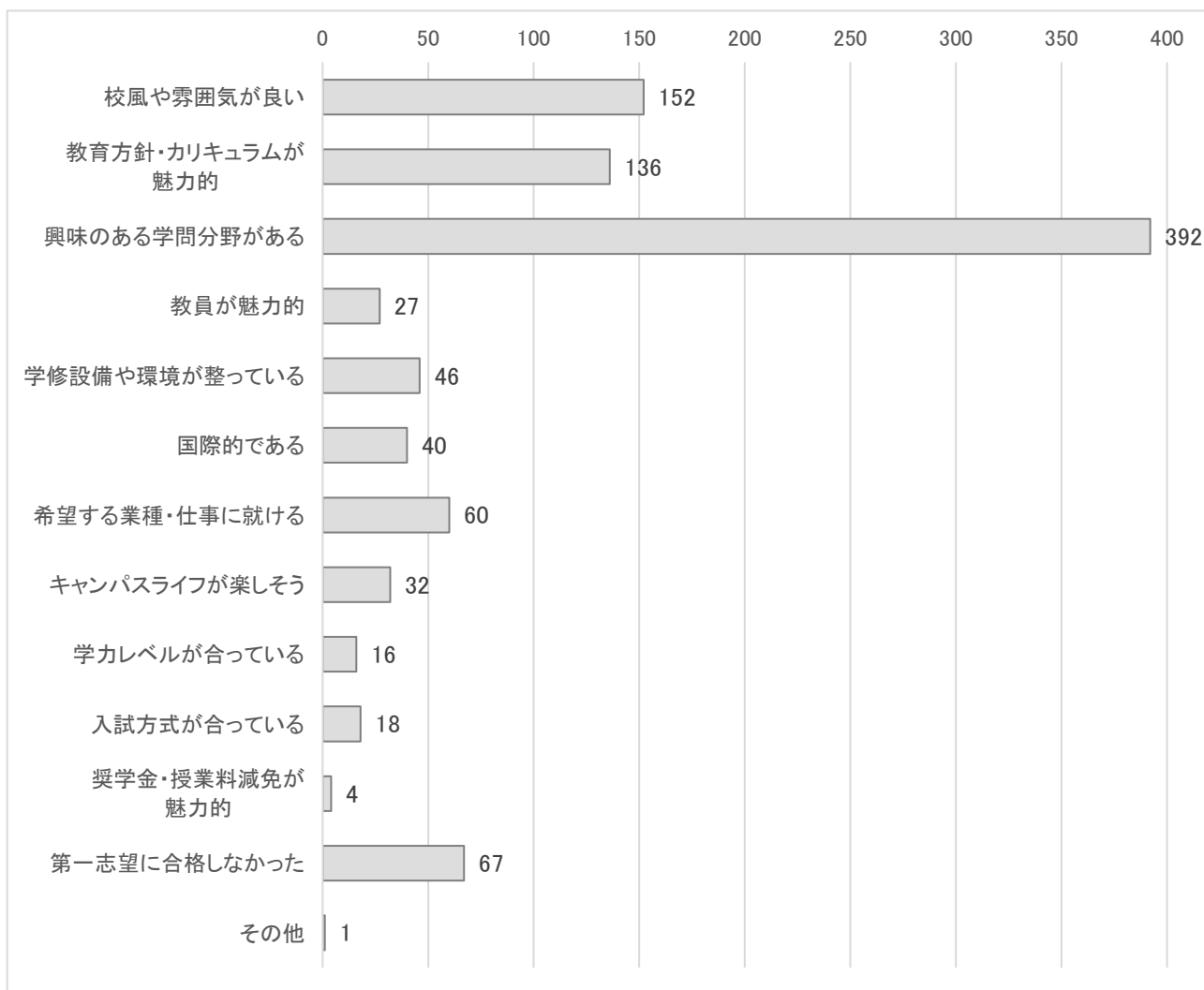
「興味のある学問分野がある」が最も多く、次いで「校風や雰囲気が良い」、「教育方針・カリキュラムが魅力」の順。昨年度同様であった。

その他の回答は、

「少しでもなりたい職にちかづけるとおもったから」「自分の学びたい学部がありレベルが高かったから」

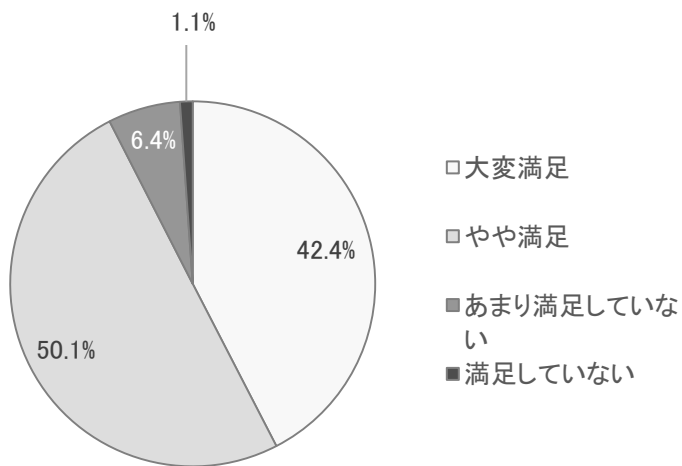
「自由」「LGBT に対する取り組み」

などがあった。

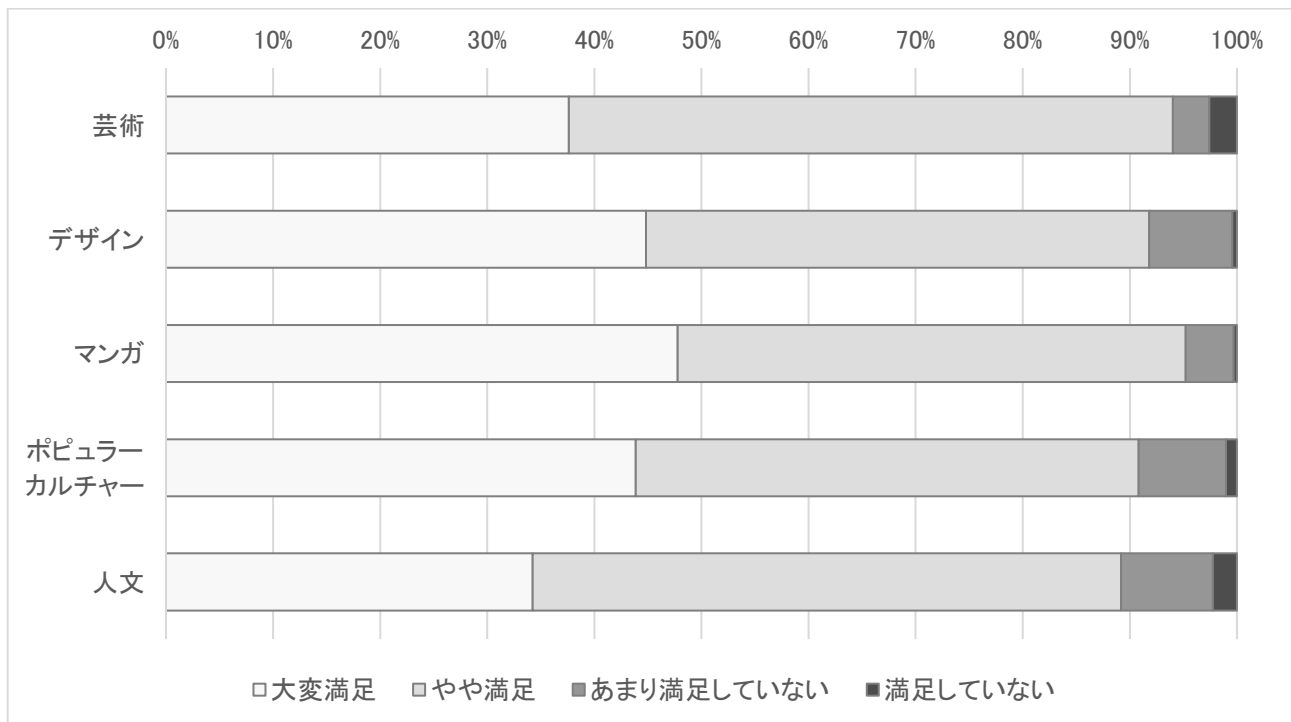


質問4 本学に入学し、現在満足していますか

92.5%が「満足」と回答。学部別に見ると人文学部の満足度が、90%を下回っている。



以下は、学部別回答



質問5 本学にどのようなイメージを持っていますか(13個まで選択可能)

「自分の興味や可能性が上げられる」が最多で、次いで「校風や雰囲気が良い」「専門分野が深く学べる」の順。

その他の回答は、

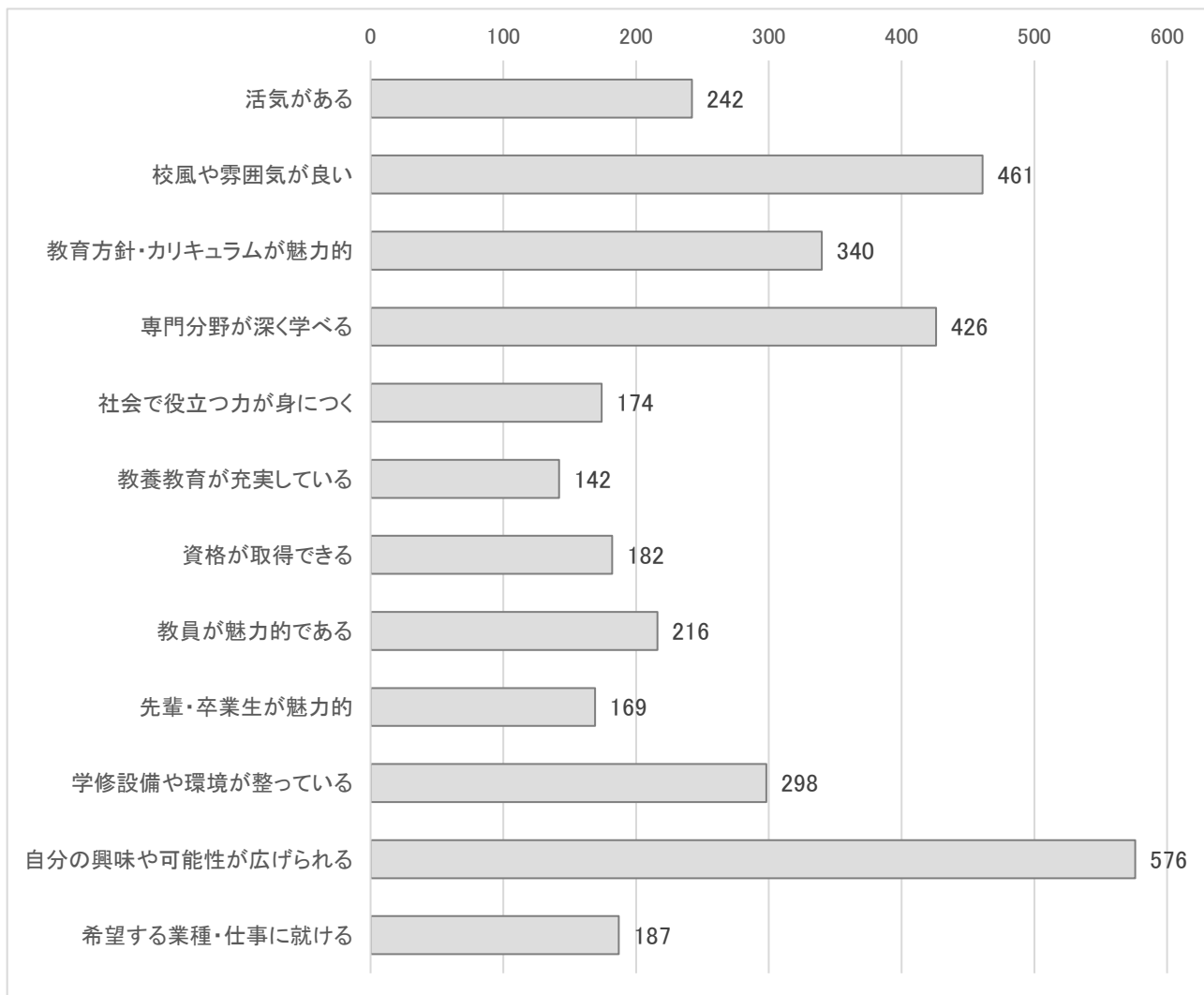
「留学生が多い」

「面白い人がいっぱいいる」

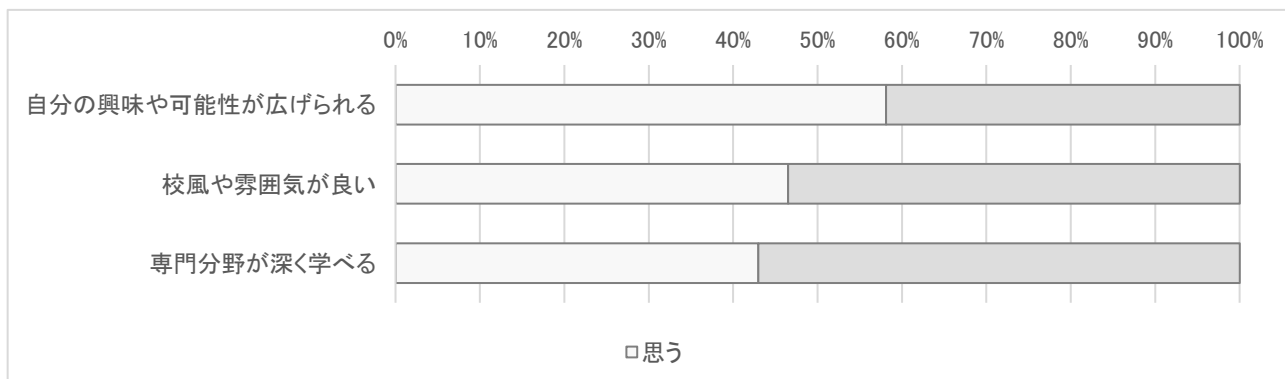
「動物園」

「まだ持っていない」

などがあつた。

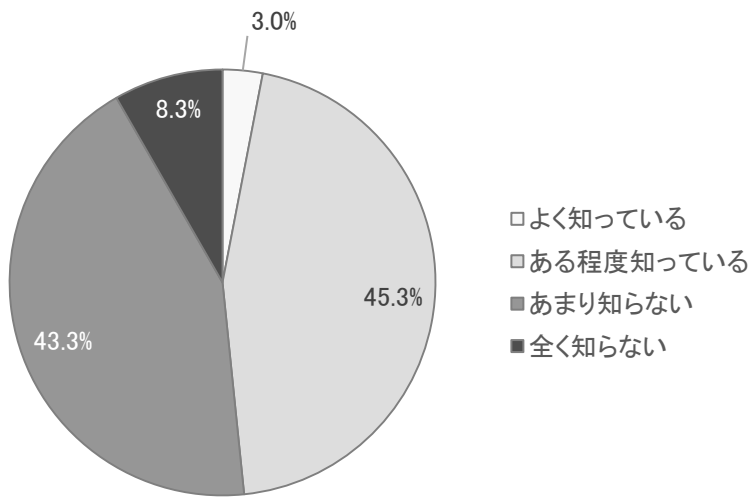


以下は、質問5の上位回答の回答者割合。

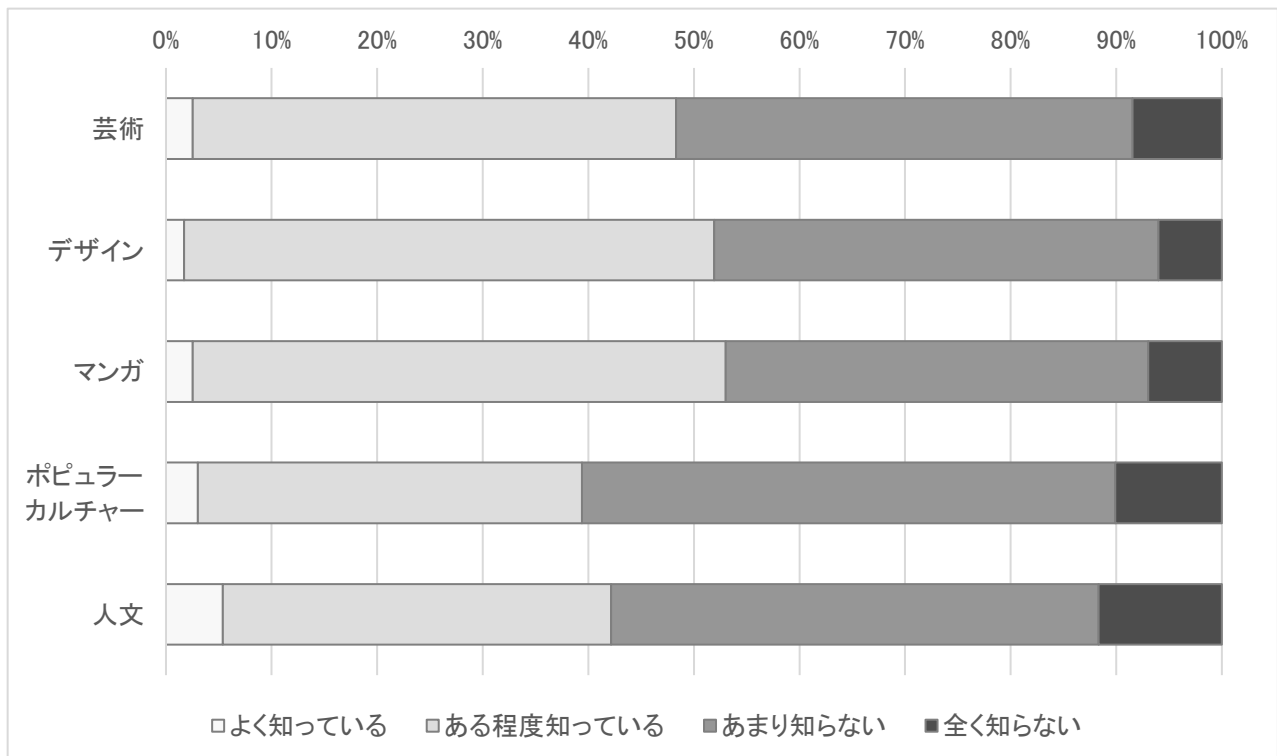


質問6 本学の建学の理念や歴史についてどのくらい知っていますか

「知っている」と回答した学生は、48.3%であった。

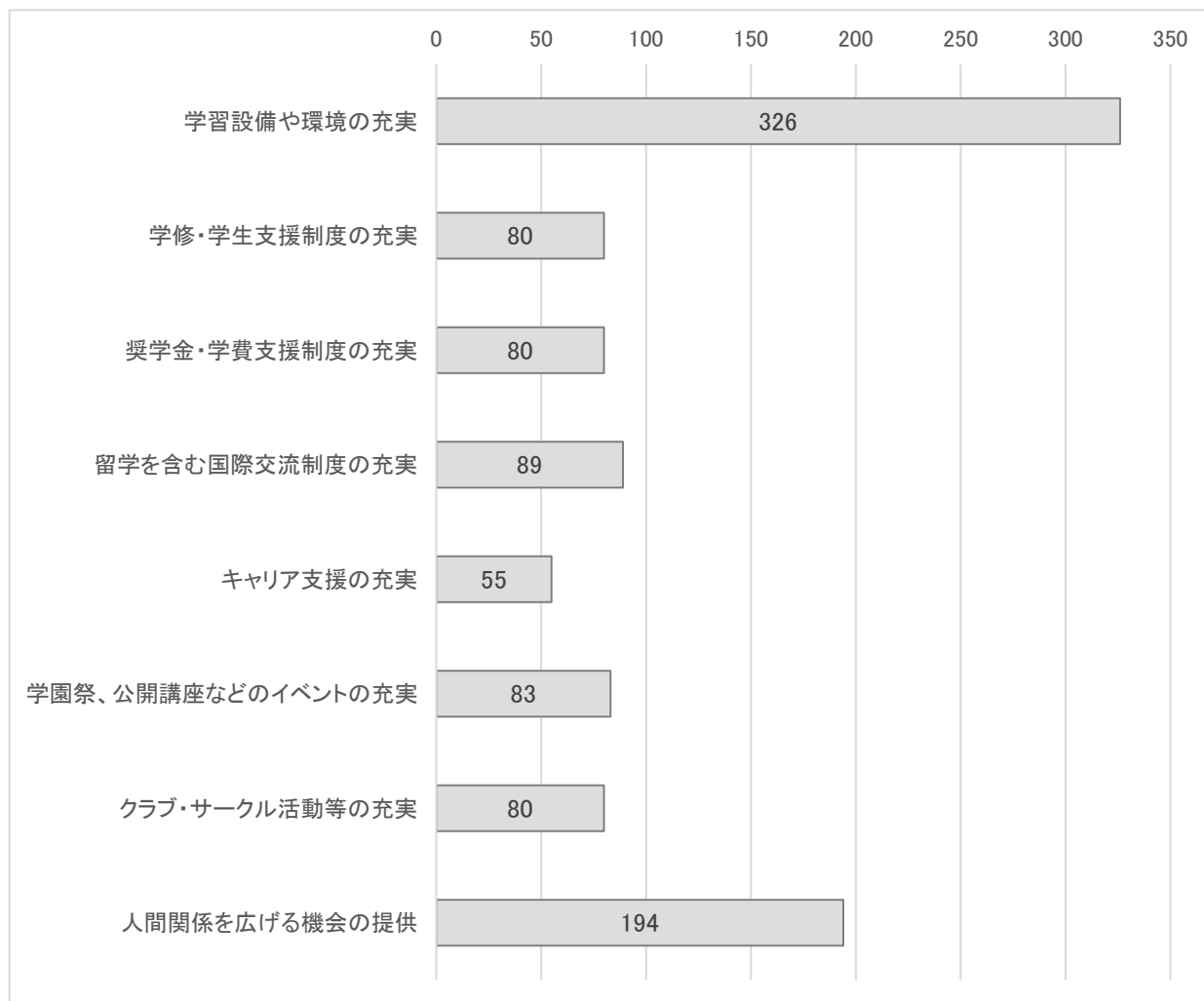


以下は、学部別回答



質問7 授業以外で大学に期待することは何ですか

「学習設備や環境の充実」が最も多く、次いで「人間関係を広げる機会の提供」「留学を含む国際交流の充実」の順。

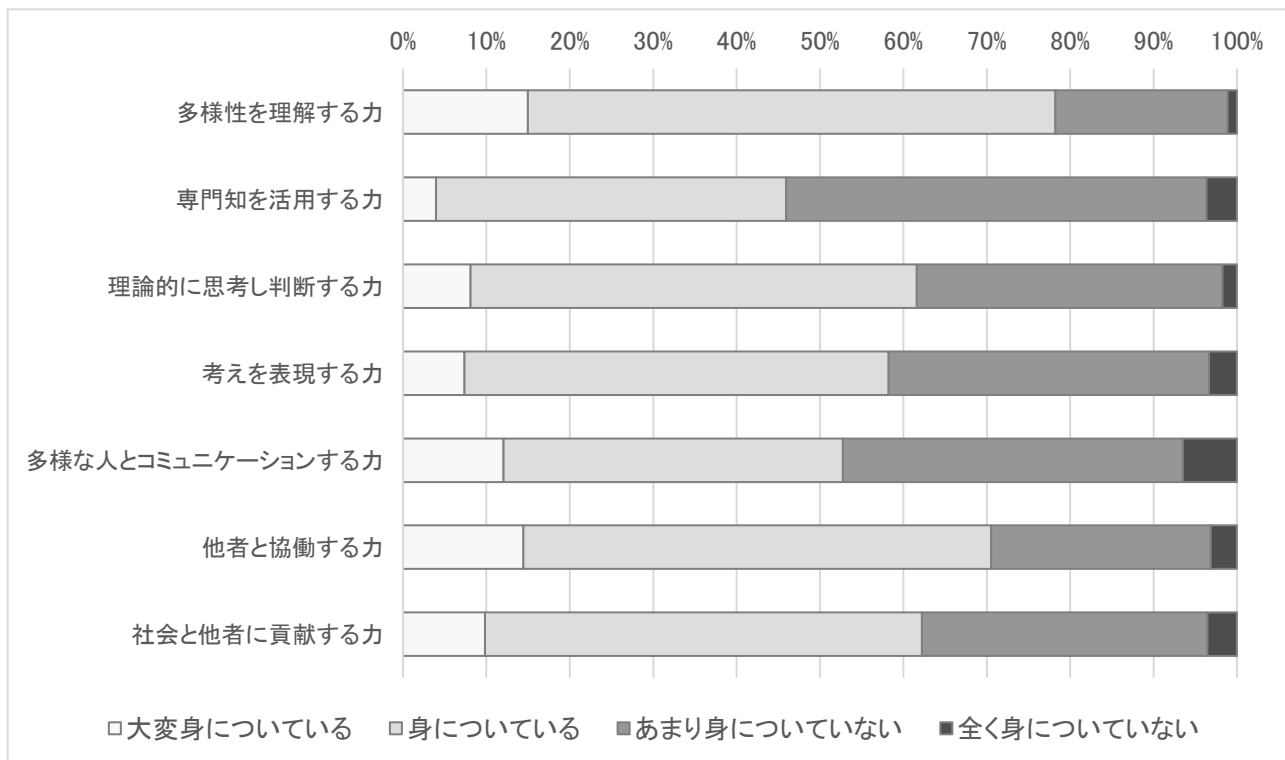


質問8 自学部・自コースへ期待することは何ですか(自由記述)

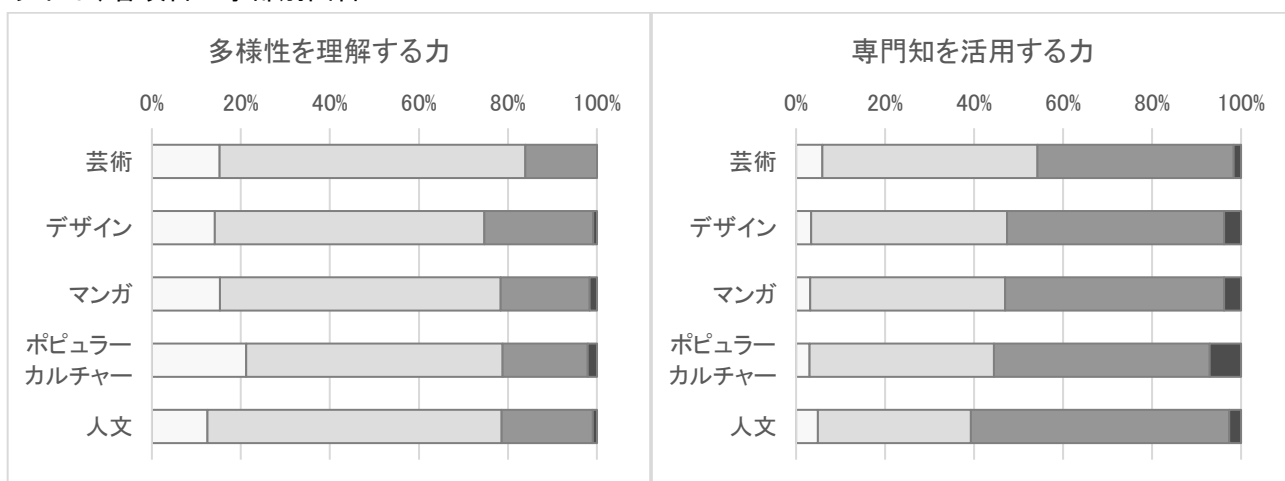
※回答は学内会議にて共有

質問9 今の自分の能力について教えてください

身につけているとの回答は、「多様性を理解する力」が一番多く、次いで「他者と協働する力」であった。この順は昨年と同様であった。

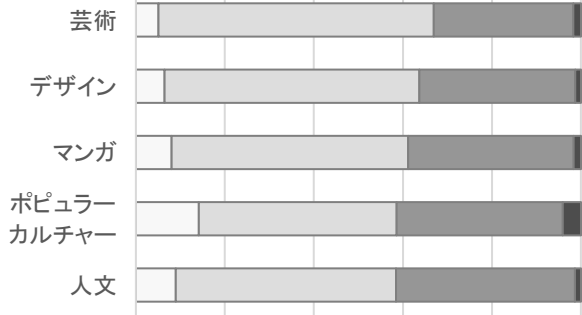


以下は、各項目の学部別回答



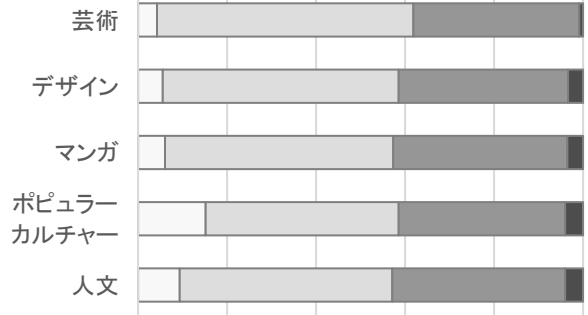
理論的に思考し判断する力

0% 20% 40% 60% 80% 100%



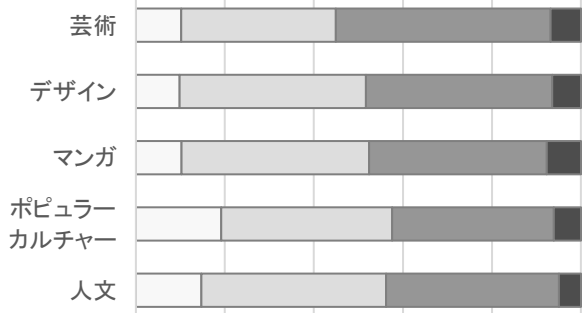
考えを表現する力

0% 20% 40% 60% 80% 100%



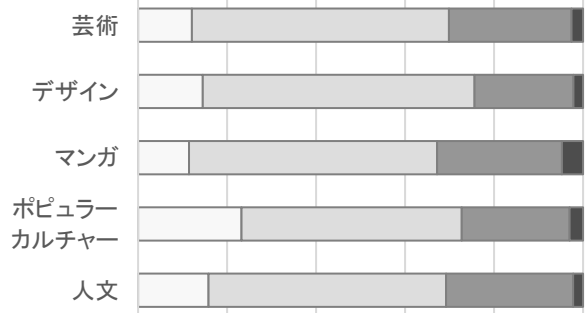
多様な人とコミュニケーションする力

0% 20% 40% 60% 80% 100%



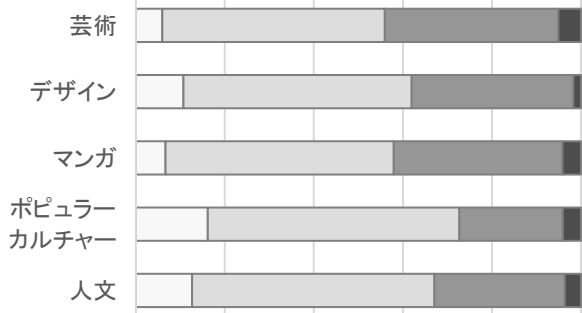
他者と協働する力

0% 20% 40% 60% 80% 100%



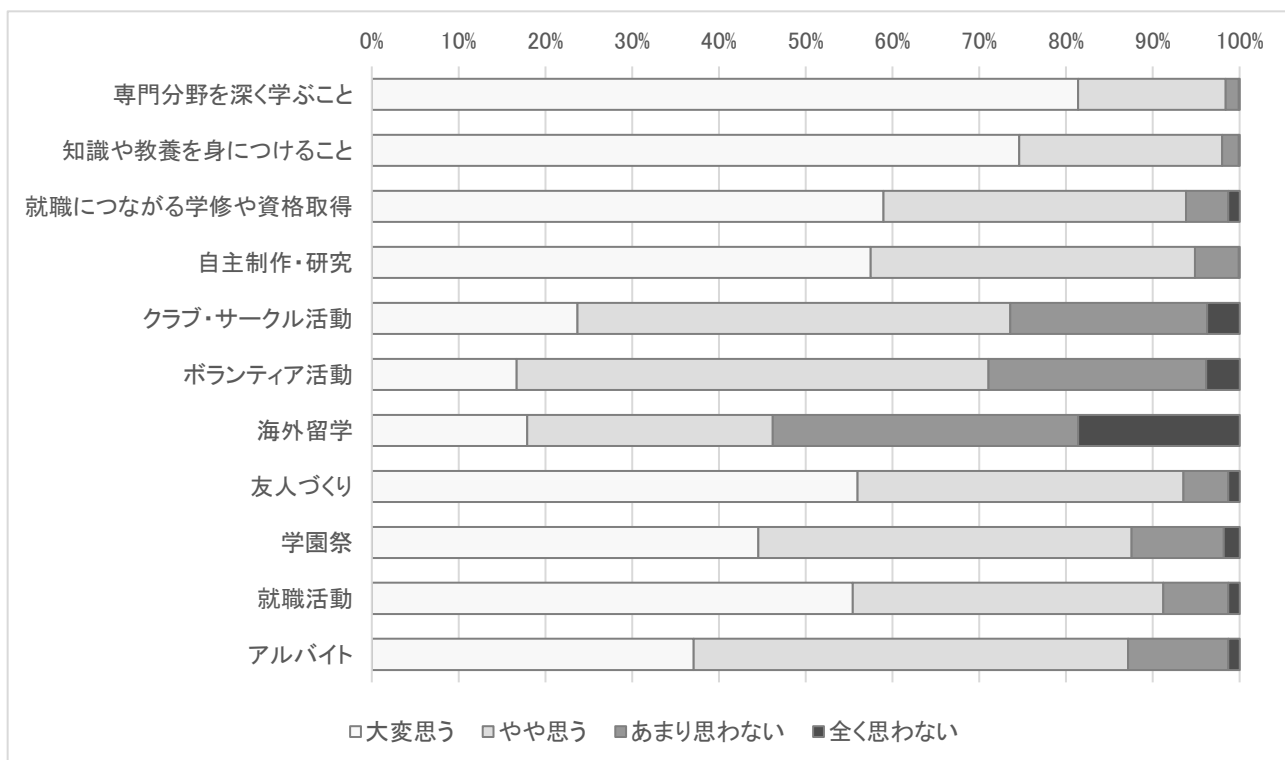
他者と他者に貢献する力

0% 20% 40% 60% 80% 100%

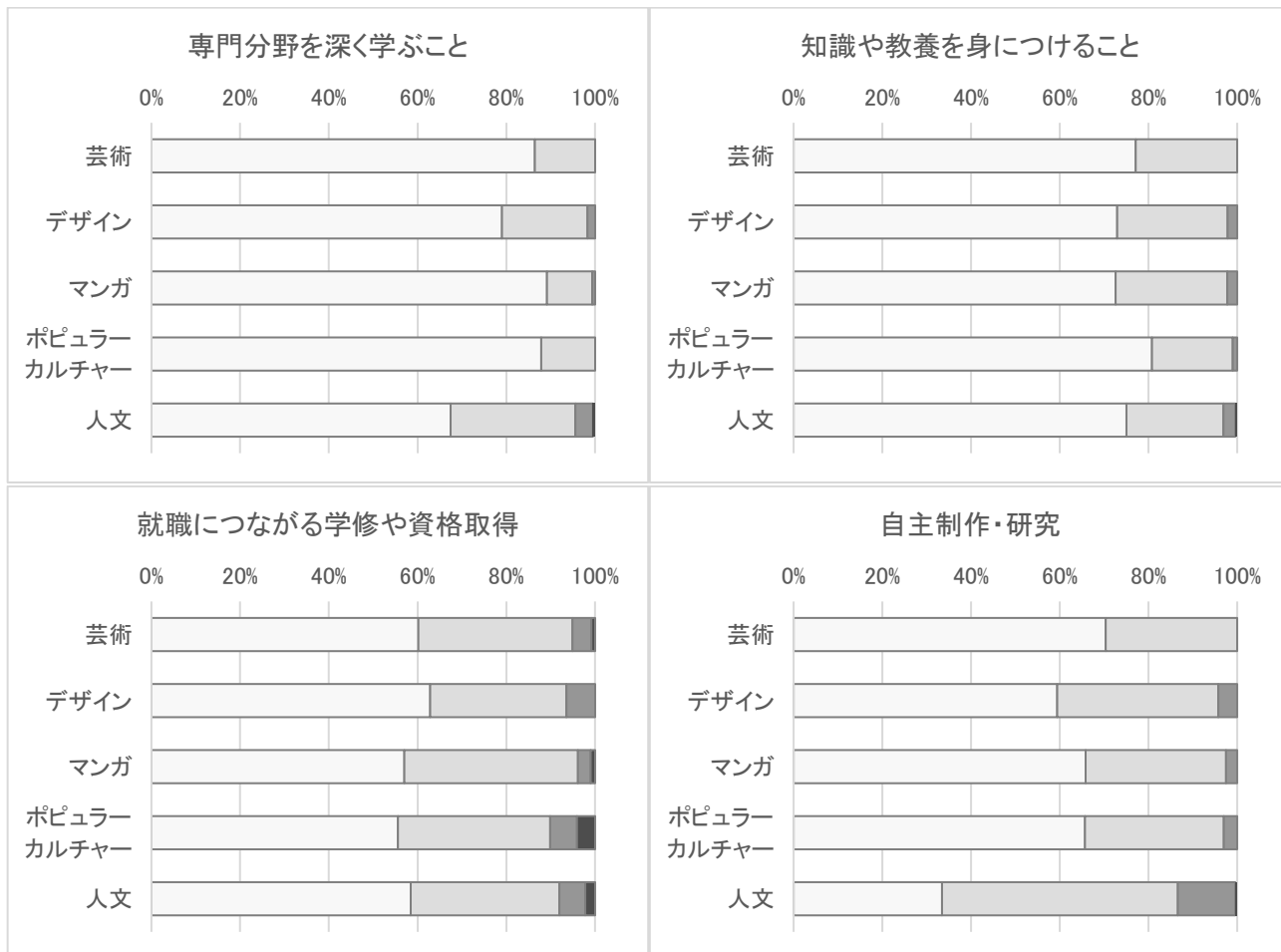


質問 10 次の項目について、力を入れたいことについて教えてください

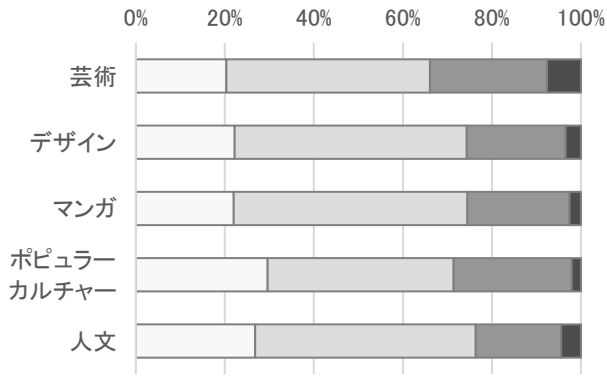
「専門分野を深く学ぶこと」「知識や教養を身につけること」は 99%とほぼ全員が身につけたいと考えている。「クラブ・サークル活動」「ボランティア活動」「海外留学」については他の項目と比べると低い。



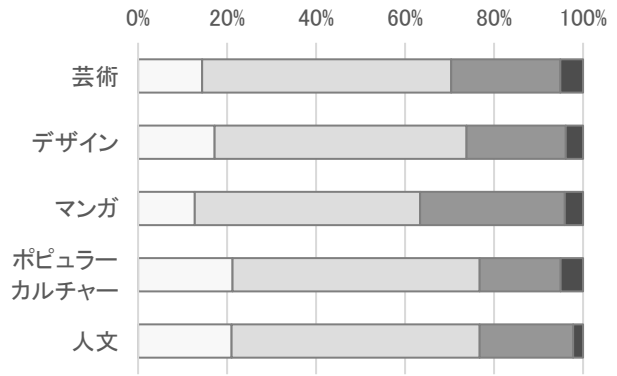
以下は、各項目の学部別回答



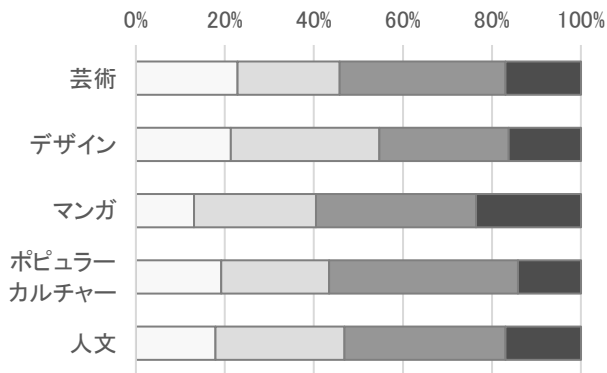
クラブ・サークル活動



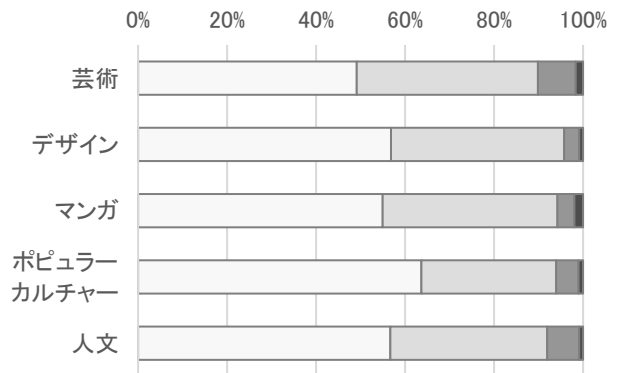
ボランティア活動



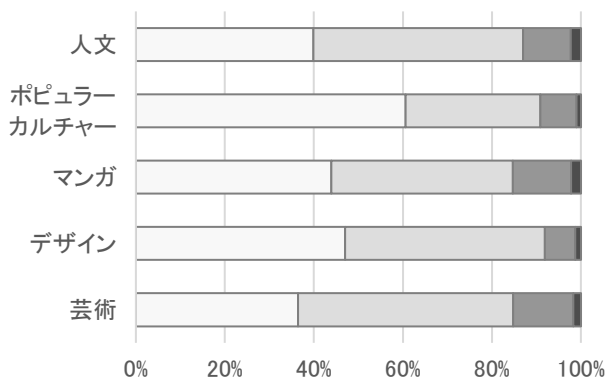
海外留学



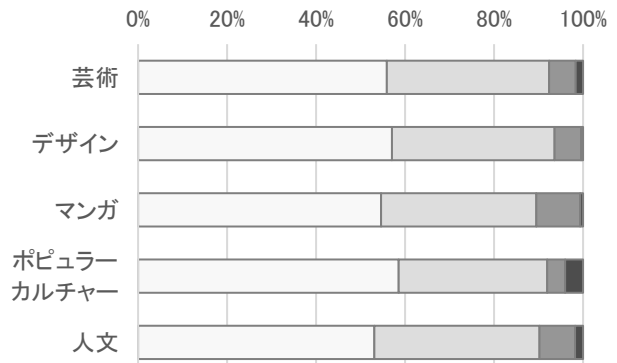
友人づくり



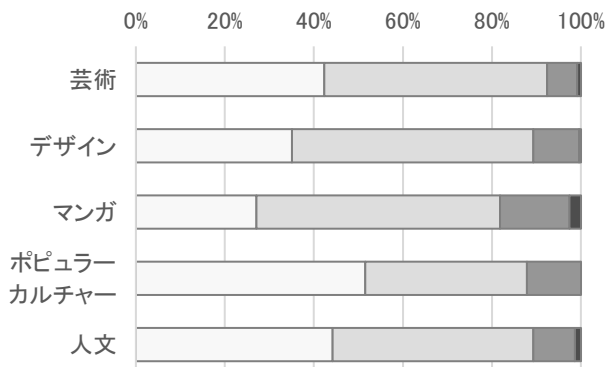
学園祭



就職活動



アルバイト

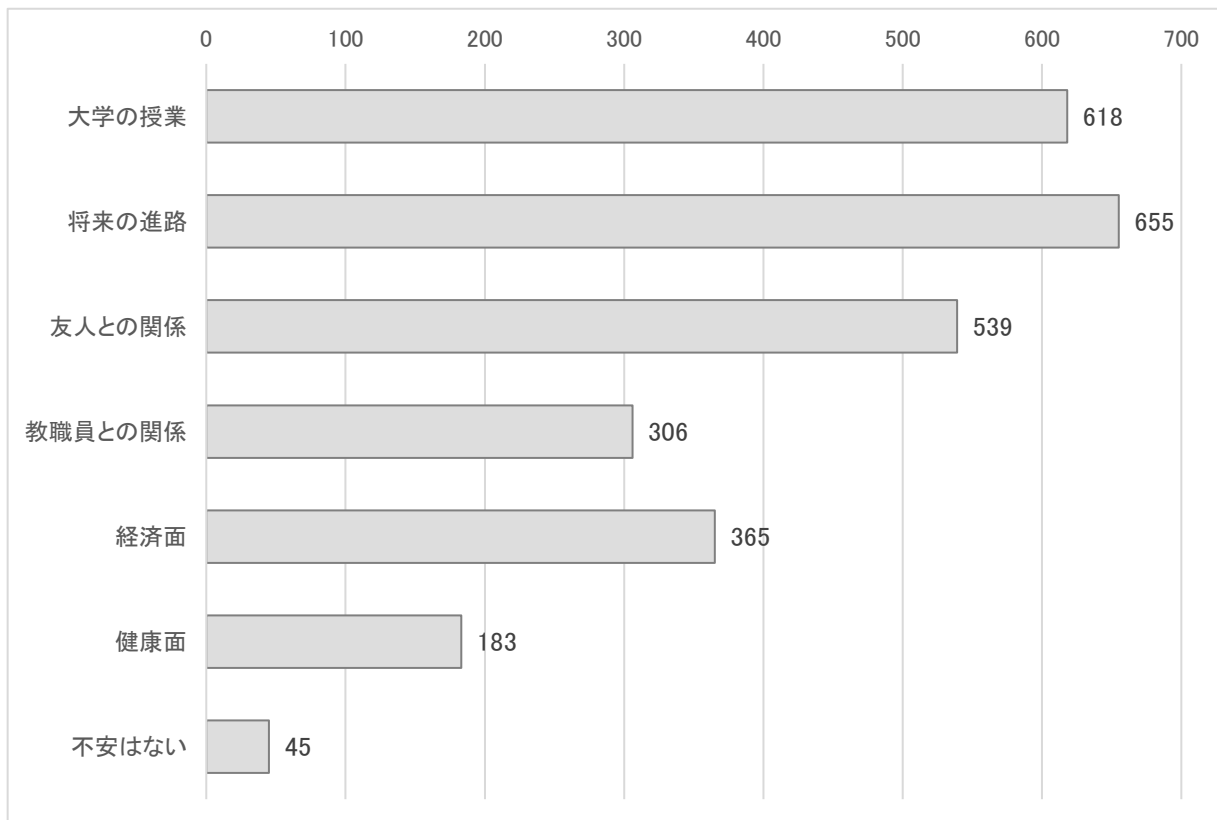


質問 11 入学にあたり不安に思っていることを教えてください(8個まで選択可能)

「将来の進路」が最も多く、次いで「大学の授業」「友人との関係」の順。昨年度は、「将来の進路」「大学の授業」「経済面」の順であった。

その他の自由記述内容は、

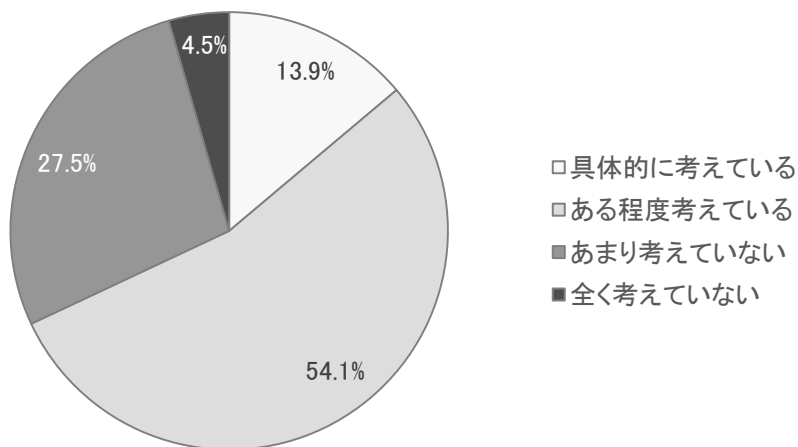
「言葉の問題(日本語能力)」「鬱で授業に出られるか」「絵がうまくない」の他、「コロナによる、授業や学生生活等の遅延」が複数みられた。



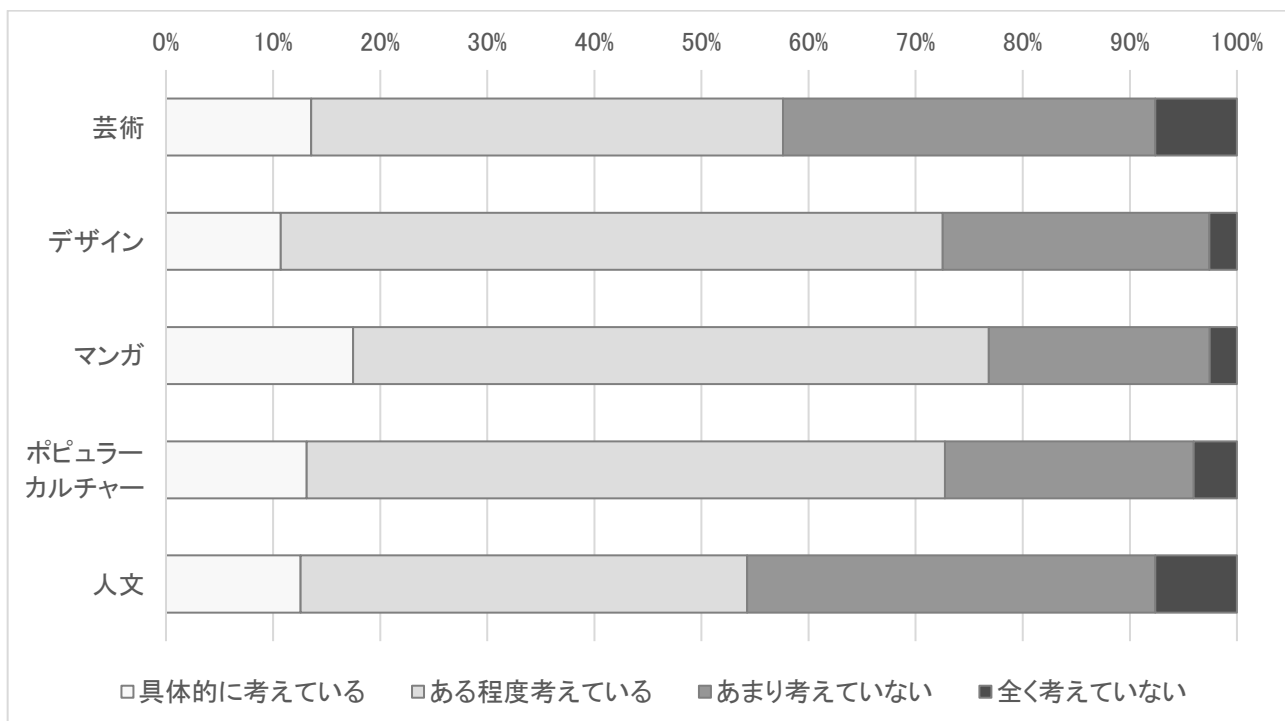
質問 12 卒業後の進路について、現在どのくらい考えていますか

「具体的に考えている」「ある程度考えている」と回答した割合は 68.0%であった。

学部別に見ると、「考えている」と答えた割合が高いのが、マンガ学部で 76.8%。低かったのが、人文学部で 54.3%であった。

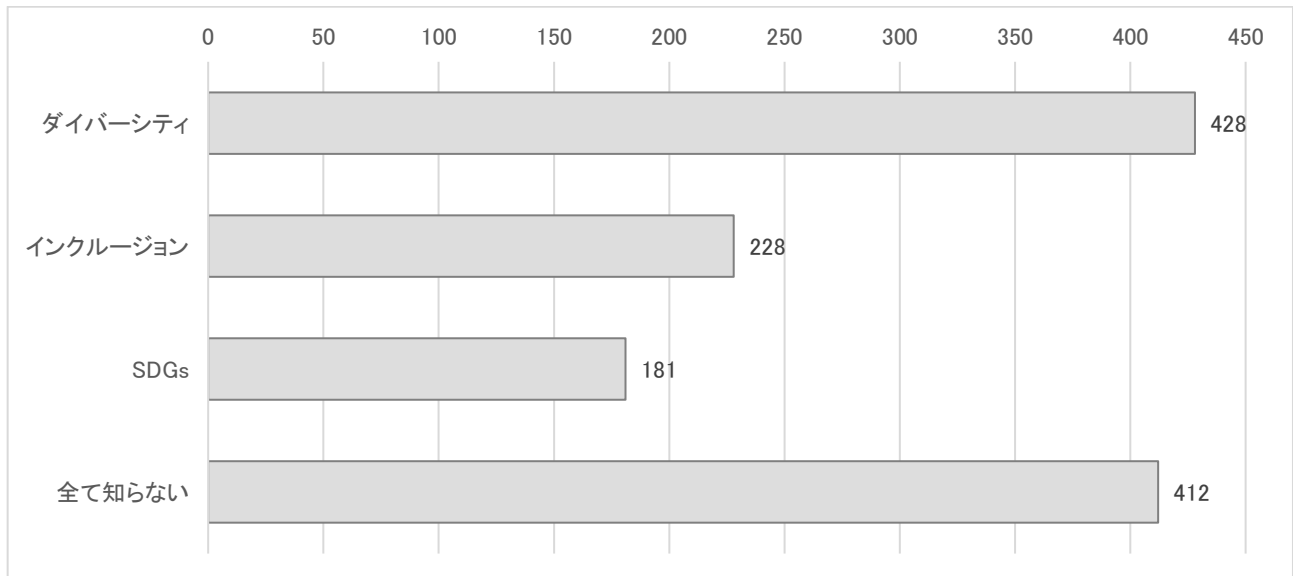


以下は、学部別回答



質問 13 以下の言葉のうち、知っているもの全てにチェックを入れてください

回答者構成比をみると「ダイバーシティ」を選択した人が 43.2%。「全て知らない」を選択した人が 41.6%であった。今後、ダイバーシティ推進センターを含め、認知度を上げる取組が必要と思われる。



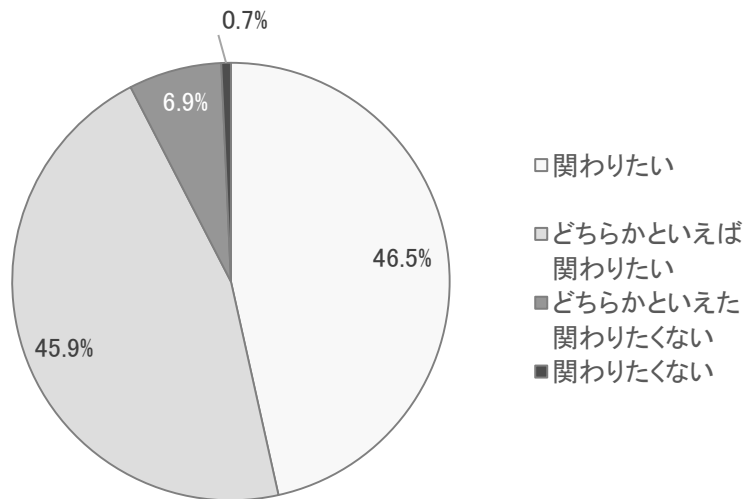
※「ダイバーシティ」…多様なバックグラウンドや属性を持つ人が集まること

「インクルージョン」…多様な人々が対等に関わり合うこと

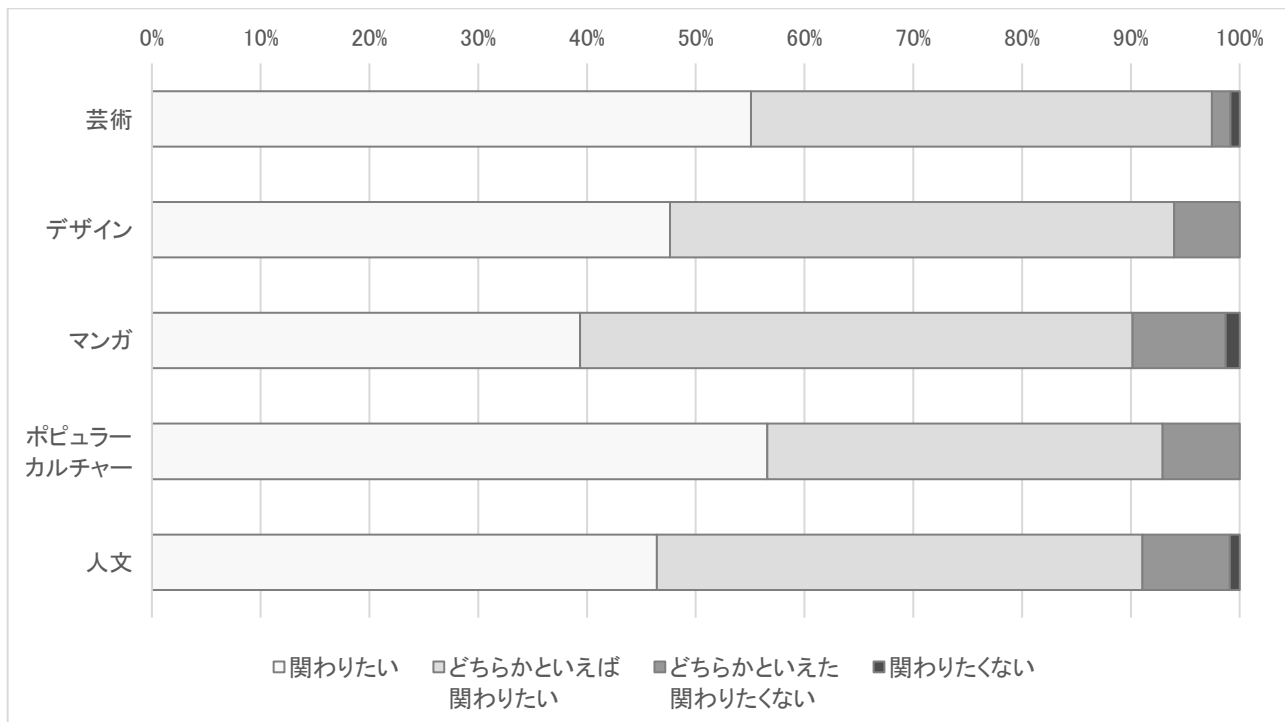
「SDGs」…世界共通の 2030 年までの継続可能な開発目標

質問 14 自分と異なる文化や価値観、属性(国籍、ジェンダー、宗教など)を持つ人と関わることについて、あなたの感覚と最も近いものを1つ選んでください

92.4%が「関わりたい」と回答。

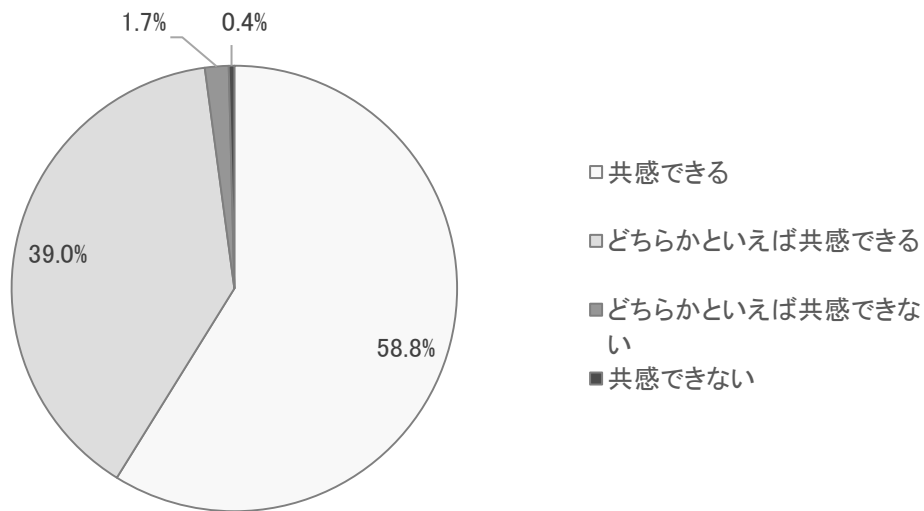


以下は、学部別回答



質問 15 京都精華大学が、ダイバーシティ推進の取組を進め、多様な人々が対等に関わり合い、お互いに成長できる場を目指すことについて、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください

97.8%が「共感できる」と回答。学部別回答を見ても、「共感できる」の回答の割合に大きな差はない。



以下は、学部別回答

